

喜多流自主公演

平成二十九年 五月

平成29年 5月28日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人 十四世六平太記念財団
 協力：喜多流職分会
 後援：品川区、品川区教育委員会

藤 杜 竹
 戸 若 生
 狩 野 島
 一 栗 谷 佐
 了 浩 々
 一 之 之 木
 多 門

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
 (24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
 (午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
 (午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
 ご予約の際ご案内いたします。
 ※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

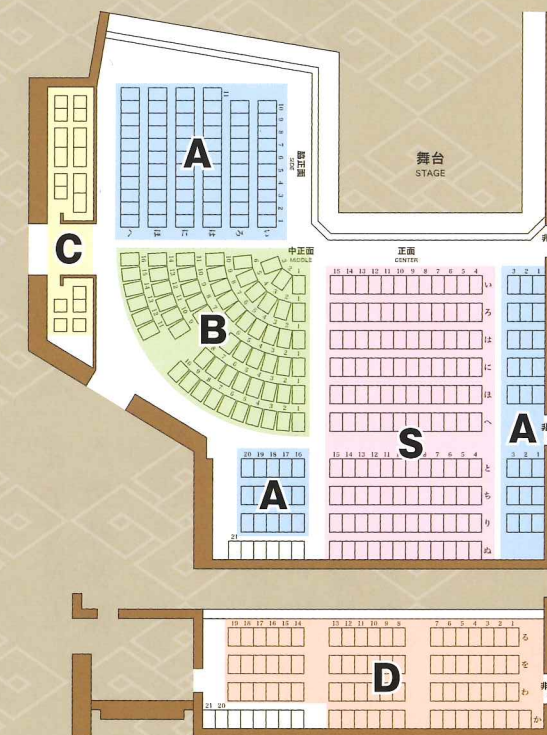
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



| | | | |
|----|--------|-----------|--------|
| S席 | 9,000円 | C席(1階栈敷席) | 6,500円 |
| A席 | 8,000円 | D席(2階席) | 6,500円 |
| B席 | 7,000円 | 学生席(2階席) | 2,500円 |

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

竹生島

後シテ連弁財天 友枝真也
前シテ連女 佐々木多門
後シテ龍神
前シテ漁翁

ワキ臣下 大日方 寛
ワキ連従者 梅村昌功
ワキ連従者 野口琢弘
アイ末社 前田晃一

大鼓 亀井 実 太鼓 梶谷英樹
小鼓 森 貴史 笛 一噌隆之

後見 塩津哲生 渡辺康喜 高林呻二
松井 彬 友藤 陽 中村邦生
友枝雄人 粟谷明生
高林昌司 長島 茂

狂言

呂蓮

シテ僧 三宅近成

アト男 高澤 祐介
小アド女 金田 弘明

休憩(二十分)

能

杜若

シテ里女(杜若の精) 粟谷浩之

ワキ旅僧 御厨誠吾

大鼓 柿原弘和 太鼓 桜井 均
小鼓 田邊恭資 笛 槻宅 聡

後見 粟谷幸雄
香川靖嗣

地謡 金子龍晟 粟谷充雄
佐藤寛泰 大村 定
塩津圭介 粟谷能夫
友枝雄太郎 内田成信

休憩(十分)

仕舞

大江山

大島輝久

地謡 佐藤章雄
金子敬一郎
大島政允
内田成信

能

藤戸

後シテ漁夫の霊
前シテ漁夫の母

狩野了一

ワキ連従者 村瀬 慧
ワキ佐々木盛綱 福王和幸
ワキ連従者 村瀬 提
アイ盛綱の下人 三宅右矩

大鼓 柿原崇志 太鼓 小寺真佐人
小鼓 森澤勇司 笛 栗林祐輔

後見 友枝昭世
内田安信

地謡 狩野祐一 谷 大作
佐藤 陽 金子敬一郎
友枝真也 出雲康雅
谷 友矩 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 五時過ぎ頃

竹生島(ちくぶしま)

ある日、醍醐天皇に仕える臣下が竹生島に参詣に出掛けようと琵琶湖畔に着くと、漁翁が若い女を伴って釣船を出しているのので、それに声を掛けて同乗させてもらおうと頼む。漁翁は快諾し、のどかな春色の湖上の景色を楽しみながら竹生島に着く。臣下は漁翁の案内で竹生島明神に参詣しようとするが、若い女もついて来るので「この島は女人禁制と聞いているが」と不審がると、竹生島に祀つてある弁財天は女体の神であると語り、女は社殿の中に、漁翁は波間に姿を消す。(中人) やがて、社殿が鳴動し弁財天が現れ、華やかな舞を舞う。そこへ突然、湖上が波立つと龍神が水中から現れ、臣下に金銀珠玉を捧げ国土鎮護を約束し、弁財天は社殿に、龍神は水中へと消え去る。(約八十分)

呂蓮(ろれん)

遠国の僧が諸国行脚を思い立ち、先ず京都へ向かった。途中で日が暮れたので一夜の宿を乞う。心易く迎え入れられたが、その家の主人が出家したいと言いつ出す。簡単に出家はできないと断るが、一族皆常々承知だということで剃髪し、法名も「呂蓮」と付ける。これを知った妻は出家を赦さず元へ戻せと騒ぐ。(約二十五分)

杜若(かきつばた)

都方の僧は三河国八橋へやってきた。僧が沢一面に咲く杜若に見惚れていると、里の女が現れ「伊勢物語」にある八橋の杜若の故事を語る。女は「からころもきつつなれにしつましあればはるばるきぬるたびをしぞおもふ」の古歌を詠じ、在原業平が詠んだ歌だと教え、僧を自分の庵室へ案内する。やがて女は色鮮やかな装束に冠を着して現れる。装束は業平と契つた高子の後のもの、冠は業平が宮中で五節の舞を舞ったときの物だと言ひ、自分は杜若の精だと告げる。杜若の精は「伊勢物語」の恋物語を舞ひ、夜が白むとともに姿を消した。(約八十分)

藤戸(ふじと)

佐々木盛綱は、藤戸の戦いで先陣の恩賞に賜った児島に、初めて領主として国入りし、領民の声を聞くとうと訴訟の申し出を受け付ける。すると、一人の女がやってきて、我が子を盛綱に殺されたと訴える。盛綱は覚えがないと言ひ張るが女の強い訴えに抵抗しきれず、藤戸の合戦で功をたてるために、馬で渡ることができた浅瀬を教えてくれた漁師を口封じのために殺し、海に沈めたことを話す。女は大切な我が子を失った悲しみを語り、この上は我が子と同じように殺してほしいと盛綱に迫る。盛綱は下人に女を家に送りとどけた後に、漁師の為に法要を営む。すると、海上に漁師の霊が現れて殺されたときの苦痛を語り、悪神となつて盛綱に恨みを晴らそうとするが、やがて仏教の功德で成仏するのであった。(約八十分)

平成二十九年 六月 自主公演番組予告

平成二十九年 六月二十五日(日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

忠 度 粟谷明生

源氏供養 長島 茂

殺生石 舞入 高林呻二